



しきい値設定

この章では、次の内容について説明します。

- [しきい値設定の概要 \(1 ページ\)](#)

しきい値設定の概要

[しきい値設定 (Threshold Settings)] ページには、CPU 使用率、仮想メモリ、ディスク使用率、未登録のエンドポイント、未登録のゲートウェイ、未登録のメディアリソースなどのしきい値パラメータの条件が、パーセンテージで表示されます。

しきい値設定のテーブルには、デフォルト値が表示されます。デフォルト値を上書きするように選択し、重要なパラメータを定義することができます。ここで設定したデータは、ダッシュボードに反映されます。

しきい値設定

しきい値パラメータの重大度レベルを設定できます。

ステップ 1 デフォルトのしきい値パラメータ値を復元するには、テーブルの下にある [デフォルトにリセット (Reset to Default)] をクリックします。

ステップ 2 [保存 (Save)] をクリックして、設定を保存します。

保存が正常に完了したら、ランディング ページに移動して、保存されているこれらのしきい値に基づいて、重大度が更新されたことを示すカラムを検索します。

無効なデータを入力すると [保存 (Save)]

(注) ボタンは無効になり、関連するエラー メッセージが各フィールドに表示されます。エラー メッセージは、カラムごとに異なります。

しきい値パラメータ

しきい値パラメータには、次の3つの重大度レベルがあります。

1. 深刻
2. 警告
3. 情報

以下には、ルールが表示されています。無効なデータを入力すると、フィールドには重大度が表示されます。

重大度	説明
深刻	[Critical Min] しきい値は、[Warning Max] しきい値以上となる必要があります。
情報	[Information Max] しきい値は、[Warning Min] しきい値以下となる必要があります。
Warning-Max しきい値	[Warning-Max] しきい値は、[Critical Max] しきい値以下、ならびに [Warning Min] しきい値以上となる必要があります。
Warning-Min しきい値	[Warning Min] しきい値は、[Min] しきい値以上、ならびに [Warning Max] しきい値以下となる必要があります。

表示には、デフォルトのしきい値条件が示されています。

基準	範囲
深刻	70% 以上および 100% 以下
警告	50% 以上および 70% 以下
情報	0% 以上および 50% 以下



(注) お互いが重複しない連続したカスタム範囲を指定する必要があります。たとえば、[Critical] 範囲が 80 ~ 100 で、[Warning] 範囲が 60 ~ 70 は有効ではありません。

1. UCOD ランディング ページの右上隅にある **[設定 (Settings)]** をクリックします。
2. ドロップダウンリストから **[システム設定 (System Settings)]** をクリックします。[システム設定 (System Settings)] ページが表示されます。